

玉里小中一貫校（仮称）基本構想

平成 29 年 3 月

小美玉市教育委員会

－ 目 次 －

	1. 基本構想策定の背景	1
	2. 玉里地区における小中一貫教育の計画	
11月	(1) 計画の経緯	6
	(2) これからの取り組み	10
	3. 基本構想	
	(1) 施設整備方針	○
	(2) 配置構成計画	○
	(3) 平面構成計画	○
12月	4. 工事費概算	○
1月	5. スケジュール	○
	6. 今後の検討課題	○

■参考資料

1. 玉里地区小中一貫教育学校建設準備委員会	○
2. 児童・生徒・保護者アンケートの結果報告書	○
3. 諸関係法規	○
4. 各小中学校現況写真	○

1. 基本構想策定の背景

小美玉市では、少子化の進展による将来的な児童生徒の減少等への対応や教育の質の充実を図るため、学校規模配置適正化に取り組んでおり、平成 27 年 2 月には、「小美玉市立小中学校規模配置適正化実施計画」を策定し、平成 34 年を目標年次として定め、より良い教育環境の整備を進めています。

玉里地区においては、平成 33 年度の開校を目指し、玉里小学校・玉里北小学校・玉里東小学校を統合し、玉里中学校との小中一貫校としての整備を進めていきます。整備にあたっては、保護者代表、学校職員、地域住民代表、識見者、その他で構成される玉里地区小中一貫教育学校建設準備委員会において、将来の学校のあり方についての協議・検討を行い、「玉里小中一貫校（仮称）基本構想」として策定します。

取り組むべき主な課題

① 少子化の進展による児童生徒の減少

市全体の少子化の傾向に付随して、玉里地区においても児童生徒数は年々減少しています。それに伴い、学校規模についても国の基準により、過小規模校と小規模校に分類され、学校施設の小規模化が必要な状況となっています。

② 学校施設の老朽化

玉里地区の全小中学校の主要施設において、建築後 35 年以上が経過しています。経年劣化による不具合がみられる施設もあり、抜本的な解決が求められています。

③ 現行の教育活動における教育課題

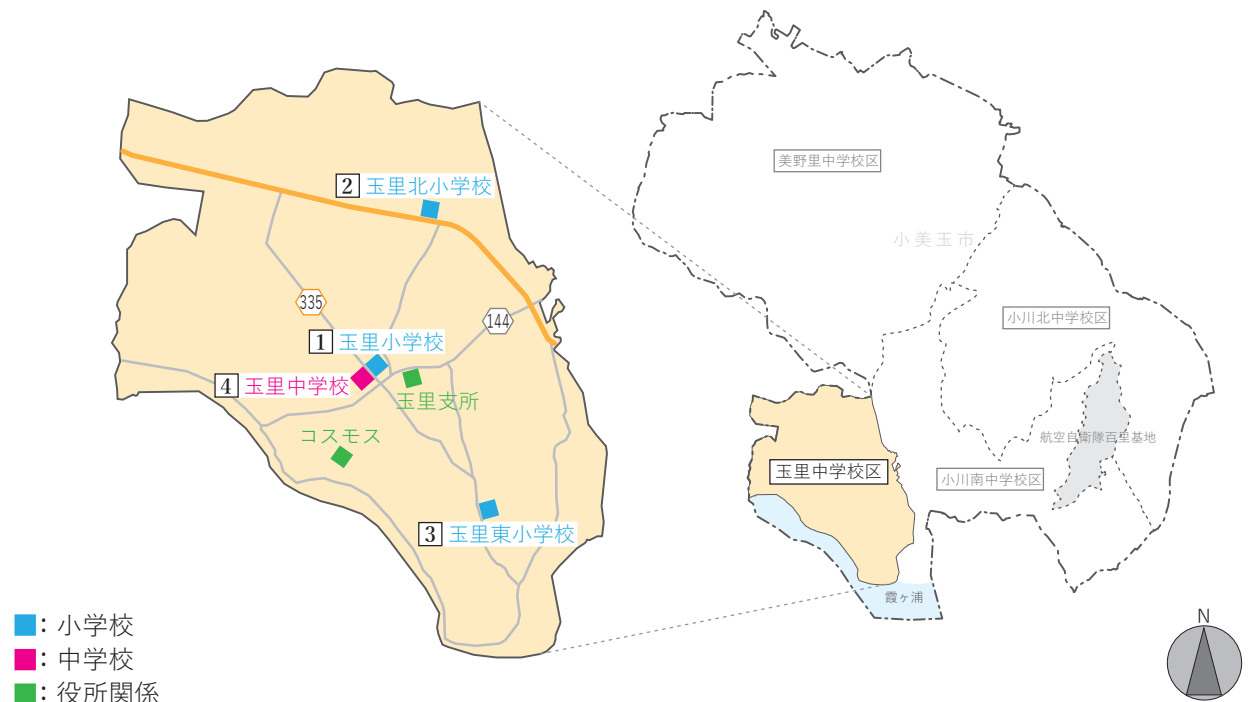
学力の向上、不登校の解消、いじめの撲滅、インクルーシブ教育の推進^(※)等の多様化する教育課題の解決の為、いっそうの教育活動の充実が求められています。

※インクルーシブ教育とは
障害のある子どもを含むすべての子供に対して、子供一人一人の教育的ニーズにあった適切な教育的支援を、「通常の学級において」行う教育のこと

小中学校の位置

玉里地区は小美玉市の南に位置し、平成 28 年 5 月現在、小学校 3 校・中学校 1 校に 587 人の児童生徒が通っています。玉里地区の中央に玉里小学校、玉里中学校、北に玉里北小学校、東に玉里東小学校が配置され、それぞれ豊かな自然環境を活かした教育活動を行っています。

以下に、各学校の現状について示します。



1 玉里小学校



■ めざす学校像

- ・笑顔あふれる学校
- ・活力ある学校
- ・応援される学校

■ めざす児童像

- ・自分から進んで学ぶ子
- ・ありがとうがもらえる子
- ・健康で体力のある子

■ めざす教師像

- ・子どもを愛し一人一人を大切に作る教師
- ・研鑽に励み、指導力を向上させる教師
- ・保護者や地域に尊敬される教師

■ 教育目標

自ら学び、豊かな心と健康な身体を持ち
たくましく生きる児童の育成

かしこく

やさしく

たくましく

■ 児童数について

年度	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	学級数
H 18	44	43	31	31	38	48	235	10 (1)
H 28	32	40	25	33	27	39	196	7 (2)
H 33 ^(※)	31	34	31	27	34	25	189	6

※玉里地区小中学校児童生徒数推計（H28算出）

■ 学校沿革

明治 8 年 5 月	本村上玉里中山小七郎氏宅において、小学校授業を開始する
明治 12 年 7 月	大字上玉里蔵下の土地に校舎を建設
明治 27 年 5 月	田余尋常小学校と改称する（児童数50名）
明治 42 年	児童数3倍となり、上玉里1222番地に移転する
明治 43 年	高等科設立 田余尋常高等小学校と改称する
昭和 16 年 4 月	茨城県新治郡田余国民学校と改称する
昭和 22 年 3 月	茨城県新治郡田余小学校となる
昭和 30 年 3 月 31 日	田余・玉川両村合併により玉里村が誕生 合併にともない「玉里村立玉里小学校」と改称する
昭和 37 年 5 月	旧玉里中学校校舎を移転改築し、本校舎とする
昭和 49 年 11 月	創立100周年記念式典挙及及び記念施設の設置
昭和 54 年 2 月	防音校舎竣工
昭和 54 年 9 月	屋内運動場竣工
昭和 56 年 2 月	校舎増築（3教室）が竣工する
昭和 62 年 11 月	環境美化コンクール「県教育長賞」受賞
昭和 63 年 11 月	環境美化コンクール「県教育長賞」受賞
平成 5 年 12 月	花と緑の環境美化コンクール「優秀賞」受賞（～平成10年 6年連続受賞）
平成 12 年 3 月	学童保育室設置
平成 13 年 4 月	自閉症・情緒障害特別支援学級新設
平成 18 年 3 月 27 日	町村合併により小美玉市となる 合併にともない「小美玉市立玉里小学校」となる
平成 24 年 2 月	小美玉市教育論文最優秀賞（体育）

敷地面積：13,801 m²
延床面積：2,451 m²
構造：RC造
築年数：37年

2 玉里北小学校



■ めざす学校像

- ・児童の安全・安心を確保できる学校
- ・児童一人一人の学びを保障できる学校
- ・児童一人一人の可能性を追求し伸ばしていくことのできる学校

■ めざす児童像

- ・進んで学習する子
- ・礼儀正しく思いやりのある子
- ・健康で体力のある子

■ めざす教師像

- ・教育者としての力量をもつ人間性豊かな教師
- ・使命感に燃え情熱のある教師
- ・子供とともに伸びようと学び続ける教師

■ 教育目標

確かな学力を身につけ 思いやりのある
たくましい児童の育成

うつくしく

たくましく

あたたかく

■ 児童数について

年度	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	計	学級数 (特支)
H 18	17	26	22	32	35	26	158	6
H 28	22	20	14	21	15	27	119	6 (2)
H 33 ^(※)	21	25	21	18	30	22	137	6

※玉里地区小中学校児童生徒数推計 (H28 算出)

■ 学校沿革

明治 13 年 12 月	田余大字栗又四ヶ極楽寺本堂に「栗又小学校」が存在	
明治 27 年 11 月 19 日	「田余第二尋常小学校」創設 (創立記念日とする)	
明治 29 年 8 月	字八幡に新校舎新築 (現在地)	
明治 29 年 10 月 17 日	新築校舎の開校式	
明治 42 年 7 月 25 日	増築上棟	
大正 10 年 9 月	第二運動場造成	
昭和 16 年 4 月 1 日	国民学校令により「田余第二国民学校」と改称する	
昭和 22 年 4 月 1 日	「田余村立田余第二小学校」と改称する	
昭和 30 年 3 月 31 日	田余・玉川両村合併により玉里村が誕生	
	合併にともない「玉里村立玉里北小学校」となる	
昭和 45 年 10 月 25 日	職員室、応接室、職員便所工事竣工	
昭和 46 年 1 月 12 日	校章制定	
昭和 46 年 6 月 11 日	校歌制定	
昭和 46 年 6 月 30 日	校旗制定	
昭和 54 年 11 月 10 日	防音永久校舎建築竣工	
昭和 56 年 3 月 20 日	屋内運動場 (体育館) 建築竣工	
昭和 56 年 3 月 29 日	創立100周年記念事業並びに式典挙行	
昭和 57 年 3 月 1 日	増築校舎竣工 (6 教室) 校庭拡張工事完了	
平成 元年 3 月	家庭科室完成	
平成 9 年 12 月	屋内運動場改装 (体育館全面塗装) 工事完了	
平成 10 年 3 月	校舎耐震補強及び空調設備工事完了	
平成 18 年 3 月 27 日	町村合併により小美玉市となる	
	合併にともない「小美玉市立玉里北小学校」となる	
平成 22 年 2 月	学校観察園完成	敷地面積：12,887 m ² 延床面積：2,279 m ² 構造：RC 造 築年数：37 年
平成 23 年 4 月	学校保健活動優良校表彰 (県学校保健会)	
平成 28 年 2 月 24 日	本田記念財団環境教育活動に関する表彰	

3 玉里東小学校



めざす学校像

- ・児童が楽しく学べる学校
- ・安心・安全で、信頼される学校
- ・家庭や地域に開かれた学校

めざす児童像

- ・広い心、豊かな心で、思いやりのある子
- ・学習に励み、創造性豊かで活力のある子
- ・心身ともに健康で、気力に満ちた子

めざす教師像

- ・人間性豊かで、協働できる教師
- ・指導力があり、学び続ける教師
- ・情熱があり、児童とともに歩む教師

教育目標

確かな学力を身に付け
心豊かに人とかかわることができる
たくましい児童の育成

かしこく

やさしく

たくましく

児童数について

年度	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	計	学級数(特支)
H 18	8	10	14	14	11	9	66	6 (1)
H 28	7	10	8	15	7	10	57	4 (2)
H 33 ^(※)	3	7	3	10	5	7	35	4

※玉里地区小中学校児童生徒数推計 (H28 算出)

学校沿革

明治 10 年 4 月	前身である「下玉里村小学校」を開校 (明治18年4月まで授業継続)
明治 21 年 4 月 9 日	「玉川尋常小学校」として下玉里2,058番地に開設 (創立記念日)
大正 15 年 4 月 5 日	「玉川尋常高等小学校」とし、高等科を併置する
昭和 16 年 4 月 1 日	国民学校令により、「玉川国民学校」と改称する
昭和 22 年 4 月 1 日	「玉川村立玉川小学校」と改称する
昭和 30 年 3 月 31 日	田余・玉川両村が合併し、玉里村が誕生
	合併にともない「玉里村立玉里東小学校」となる
昭和 37 年 4 月 22 日	下玉里457番地、旧玉川中学校舎へ移転する
昭和 47 年 9 月 20 日	校旗樹立 (下玉里・桜井弘守氏より寄贈)
昭和 51 年 1 月 5 日	鉄筋二階建て防音校舎・付属設備共 (1,427㎡) の新校舎竣工
昭和 51 年 4 月 9 日	創立100周年記念式典挙行政
昭和 62 年 3 月	特別教室棟 (家庭科室・図書室) 277㎡増築
平成 16 年 4 月 29 日	自然環境保全の取り組みにより「環境大臣賞」受賞
平成 18 年 3 月 27 日	町村合併により小美玉市となる
	合併にともない「小美玉市立玉里東小学校」となる
平成 19 年 8 月 2 日	花と緑の環境美化コンクール地区審査で「優良賞」受賞
平成 20 年 3 月 6 日	アサザ池竣工 (青少年を育てる市民の会 学校支援事業)
平成 28 年 4 月 17 日	創立140周年記念集會を開催

敷地面積：10,248 ㎡
延床面積：1,410 ㎡
構造：RC 造
築年数：40 年

4 玉里中学校



■ めざす学校像

- 活力ある学校
- 楽しく学べる美しい学校
- 地域と連携する学校

■ めざす生徒像

- 心身ともに健康で、ねばり強い生徒
- 協力し合い、集団や社会に尽くす生徒
- 深く考え、進んで行動する生徒

■ めざす教師像

- 人間性豊かな教師
- 指導力のある教師
- 情熱と使命感に溢れる教師

■ 教育目標

豊かな知性と
優れた品性を備え
心身ともにたくましい生徒の育成

たくましく

まとまって

りりしく

■ 生徒数について

年度	1 学年	2 学年	3 学年	計	学級数(特支)
H 18	80	94	77	251	7 (2)
H 28	67	83	65	215	7 (2)
H 33 ^(※)	70	47	69	189	6

※玉里地区小中学校児童生徒数推計（H28 算出）

■ 学校沿革

昭和 22 年 5 月 1 日	①田余村立田余中学校が創立（現在の玉里支所）
	②玉川村立玉川中学校が創立（現在の農民会館）
昭和 26 年	①上玉里1039番地（現在の玉里小）に移転
昭和 30 年 3 月 31 日	田余・玉川両村合併により玉里村が誕生
昭和 30 年 4 月 1 日	合併にともない①玉里村立玉里中学校と改称する
	②玉里村立玉里東中学校と改称する
昭和 35 年 4 月 1 日	①玉里中学校と②玉里東中学校が統合し、「玉里村立玉里中学校」が開校する （玉里教場、東教場を校舎とする）
昭和 37 年 4 月 8 日	両教場より、現在地（上玉里751番地）に校舎新築
昭和 51 年 7 月 9 日	体育館新築工事完了
昭和 56 年 3 月 15 日	新校舎工事完了
昭和 60 年 2 月 26 日	増築工事完成（普通教室1、特別教室2、自転車置き場）
平成 2 年 3 月 31 日	屋内運動場完成
平成 10 年 3 月 30 日	給食配膳室増設
平成 18 年 3 月 27 日	町村合併により小美玉市となる
	合併にともない「小美玉市立玉里中学校」となる

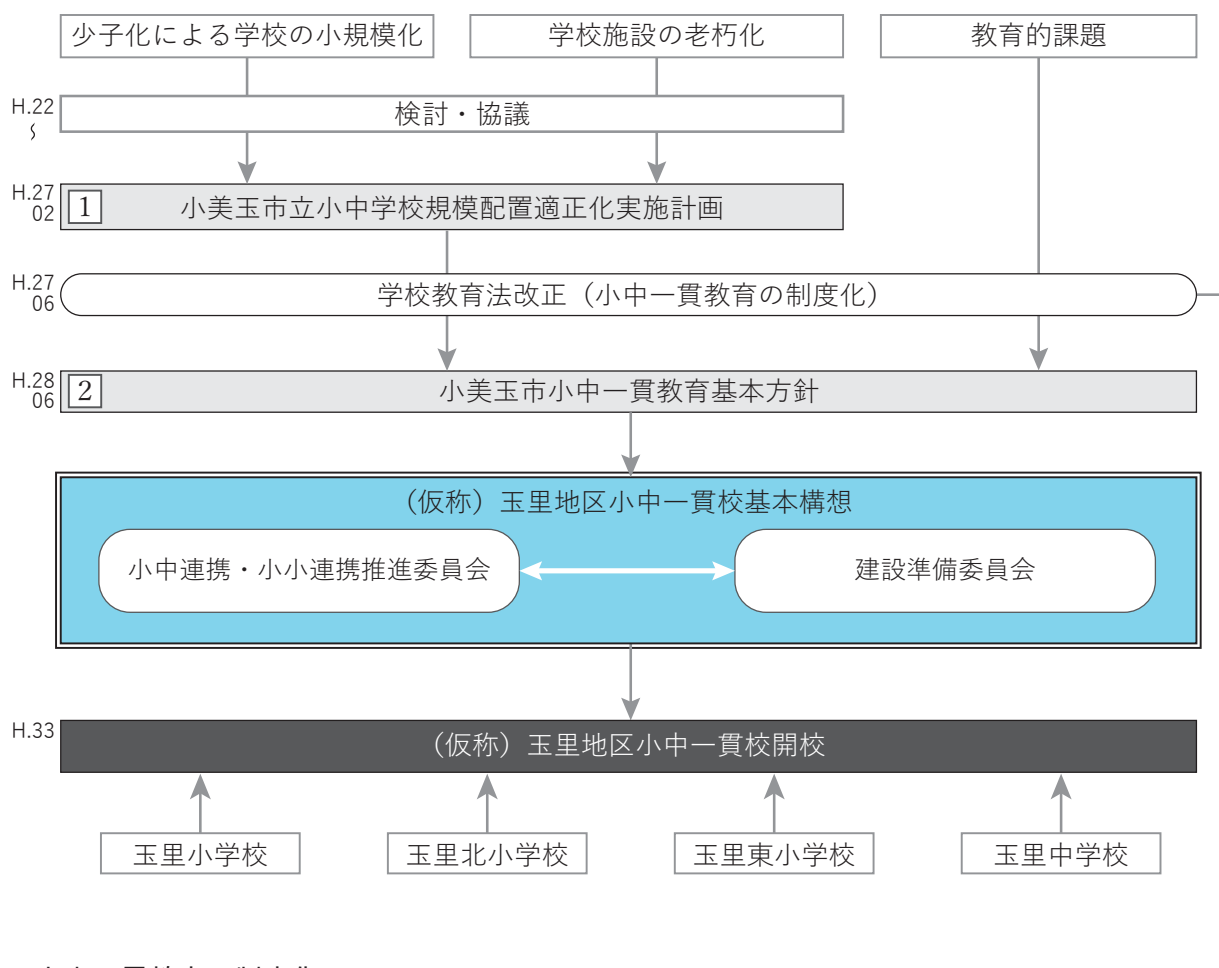
敷地面積：30,121 m²
延床面積：3,204 m²
構造：RC 造
築年数：35 年

2. 玉里地区における小中一貫教育の計画

(1) 計画の経緯

基本構想策定の背景に示した課題を解消するために、平成22年に設置した小美玉市学校規模配置適正化検討委員会からの答申を指針としながら、平成27年2月に小美玉市立小中学校規模配置適正化実施計画を策定しました。この計画を基に、平成28年6月に小美玉市小中一貫教育基本方針を策定し、玉里中学校区では一体型の小中一貫校を開設することとなりました。

計画経緯の概略は以下のとおりです。



小中一貫教育の制度化

平成28年4月、改正学校教育法及び関係政省令・告示の施行により、小中一貫教育を行う新たな学校種である「義務教育学校」、義務教育学校に準じた形で一貫した教育を行う「小中一貫型小学校・中学校」が制度化されました。

教育的効果

義務教育全体の質の向上が期待される効果として、次のような項目があげられます。

- ◎ 組織的・継続的な教育活動の徹底による教育効果の向上（学力・学習意欲の向上）
- ◎ 子供たちの社会性の育成機能の向上
- ◎ 「中1ギャップ」の緩和（不登校・いじめの減少等）など、生徒指導上の諸問題の減少 等

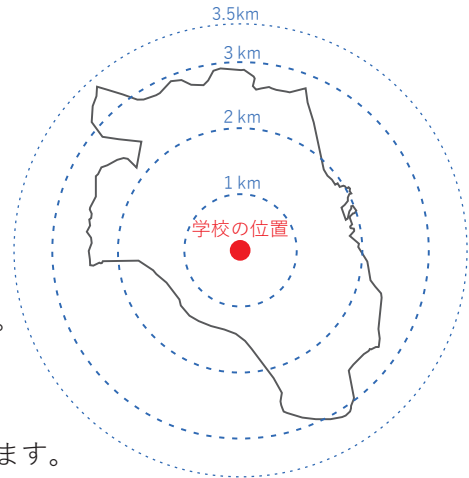


1 小美玉市立小中学校規模配置適正化実施計画の概要

平成 27 年 2 月策定

1. 基本方針

- ①望ましい学校規模
 - ・小学校 学年 2 学級以上
 - ・中学校 学年 3 学級以上
- ②望ましい学級規模
 - ・小学校及び中学校ともに、1 学級の規模は 20 ～ 30 名



－ 学校の位置図 －

2. 適正配置の具体的方針

(ア) 適正配置の方法

玉里小学校、玉里北小学校、玉里東小学校を統合します。
統合小学校は、玉里中学校との小中一貫校とします。

(イ) 学校の位置

小中一貫校の位置は、玉里小学校または玉里中学校とします。

(ウ) 学校施設

小中一体型の校舎を新たに建設します。体育館、プール等は、現行の施設を利用します。

3. 整備計画

学校名	整備予定年度	整備予定地	児童生徒数	学級数
(仮称) 玉里・玉里北・玉里東 統合小学校	27 ～ 32 年度	玉里小学校 ・ 玉里中学校	361 人	12 学級
玉里中学校 (小中一貫校)			189 人	6 学級

※児童、生徒数は開校予定年度の推計
※学級数は 1～3 学年 35 人, 3～6 学年 40 人で算出

4. 小学校統合年次スケジュール

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	H32 年度	H33 年度
基本設計			●----->				
実施設計				●----->			
施設整備					●----->		
その他	●----->	●----->					

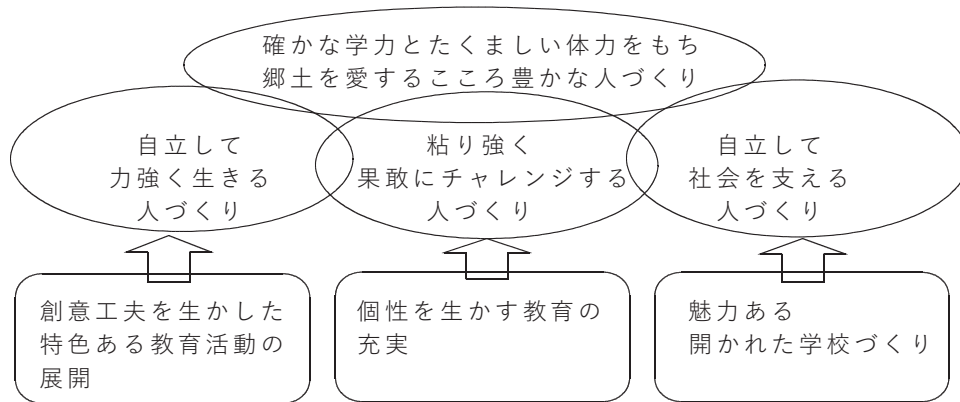
学校建設位置の選定、用地取得の検討、小中一貫校(校舎一体型)の建設準備 (仮) 小学校統合準備委員会による検討

5. 学校再編による目指す効果

- 複式学級が解消され、今後も複式学級編制の必要がなくなります。
- 1 学年複数学級編制により、クラス替えが可能となります。
- 児童数が増えることで、多様な考え方に触れ、切磋琢磨すること等を通して社会性や協調性たくましさを育みやすくなります。
- 教員が増えることにより、経験、教科、特性などの面でバランスのとれた教職員配置が行いやすくなります。
- PTA 活動等において、役割分担により、保護者の負担を分散しやすくなります。

2 小美玉市小中一貫教育基本方針の概要

平成 28 年 6 月策定



■ 具体的な施策と期待される教育的効果

大きく輝く人づくり

- ◎ 確かな学力を身に付けさせる教育の推進
 - 基礎的・基本的な知識・技能の習得
 - 思考力・判断力・表現力の育成
 - 国際理解教育の充実
 - 情報教育の充実と情報モラルの定着
 - 理数教育の充実
- ◎ 豊かな心を育む教育の推進
 - 人を思いやる豊かな人間性の育成
 - さわやかなあいさつ運動の推進
 - いじめの未然防止、早期解消
 - 児童生徒の悩みや不安の解消
 - 夢や志をもって粘り強くチャレンジする心の育成
- ◎ 健康や体力を育む教育の推進
 - 児童生徒の健やかな体づくり
 - 健康教育や安全教育の充実
 - 心豊かな人間関係づくり
 - 食育の推進

魅力あふれる学校づくり

- ◎ 地域との連携と交流の推進
- ◎ 開かれた学校づくり
- ◎ 教員が児童生徒と向き合う時間の確保

たゆまず励む教員づくり

- ◎ 教員の指導力向上
- ◎ 校長のマネジメントによる学校経営の推進
- ◎ 学校改善プランに基づく取組の充実
- ◎ 幼小中連携の推進
- ◎ 特別支援教育の充実

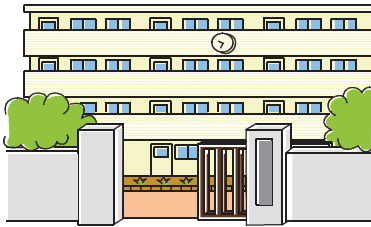
期待される教育的効果

- 小中学校で、教育目標や目指す児童生徒像を共有することにより、発達段階ごとの指導が可能になる。
- 小学校教育のきめ細かな指導が、児童生徒の発達段階に応じて系統的に提供できる。
- 小中学校の教員が協働して、9年間を見通した「中継ぎ」の指導を行うことにより、「中継ぎギャップ」の解消や不登校、問題行動等の減少が期待できる。
- 小中学生の異年齢交流や合同行事を通して育成が、小学生には夢や目標に向かうモデルの具象化が期待できる。

- 小中学校の教育活動に一貫性が増すため、地域の教育力の活用が活性化し、より地域と密着した学校運営が可能となる。
- 9年間を見通した一貫性のある学校運営により、より特色ある教育活動の展開が期待できる。

- 小学校教員においては、教科指導の専門性や系統性における理解が深まり、学習指導力の向上が期待できる。
- 中学校教員においては、発達段階に応じたきめ細かな学習指導や生活指導の技能が高まり、指導力の向上が期待できる。
- 小中学校教員がお互いの指導のよさを共有するとともに、9年間を見通した継続性のある指導を行うことで、総合的な指導力の向上が期待できる。

一体型小中一貫教育 (玉里小・玉里北小・玉里東小・玉里中 統合小中学校)



統合小中学校

想定される小中一貫教育

- 義務教育学校としての開校を目指す。
- 小1から中3までの児童生徒が同じ校舎でともに学校生活を送る。
- 小中で統一した学校教育目標や重点目標を設定する。
- 義務教育9年間を通じた教育課程を編成する。(学年3区分制等)
- 小中教員乗り入れによる段階的な教科担任制を導入する。

3. 小中一貫教育の推進

- 主な研究・実践内容例
 - ・ 9年間を通じた学校教育目標，重点目標の設定
 - ・ 9年間を通じた教育課程

前期 (4年間)				中期 (3年間)			後期 (2年間)	
小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
基本的な学習習慣や生活習慣の定着 基礎・基本の習得 活用力の育成				自主的な学習態度や生活態度の育成 基礎・基本の習熟 活用力の伸長 小中の円滑な接続			自主・自立の態度の確立 社会へつながる協働力の育成 進路目標の実現	
学級担任制 (一部教科担任制)						教科担任制		

- ・ 9年間を通じた学校生活や学習のスクールスタンダードの策定
- ・ 一体型小中一貫校における学校施設設備の効果的な活用方法
- ・ 一体型小中一貫校における効果的な教員配置や教員研修

(2) これからの取り組み

1 玉里地区小中連携・小小連携プロジェクト

玉里小中一貫校（仮称）の開校に向け、玉里地区小中連携・小小連携推進委員会と玉里地区の教職員が協働し、小中一貫教育への移行を進めていきます。以下、3つのプロジェクトにおいて、各専門分野の教職員が検討・試行を行い、ソフト面の強化を図ります。

